

デスモプレシン点鼻スプレー2.5 μ g「フェリング」

【この薬は？】

販売名	デスモプレシン点鼻スプレー2.5 μ g「フェリング」 DESMOPRESSIN Nasal Spray 2.5 μ g [FERRING]
一般名	デスモプレシン酢酸塩水和物 Desmopressin Acetate Hydrate
含有量	1ビン中(5mL 中) デスモプレシン酢酸塩水和物 125 μ g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、中枢性尿崩症用剤と呼ばれる点鼻用スプレー剤です。
- ・この薬は、体内で尿の量を調節する抗利尿ホルモンのバソプレシン（脳の下垂体から分泌される）が不足しているために、大量の尿が出てしまう病気の治療に用います。
この薬は、バソプレシンと同じような働きを持つ物質（誘導体）であり、バソプレシンの不足を体外から補うものです。
- ・次の病気の人に処方されます。

中枢性尿崩症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 高血圧を伴う循環器障害、動脈硬化症、冠動脈血栓症、狭心症の人
- ・ 下垂体前葉不全の人
- ・ 過去にアレルギー性鼻炎をおこしたことがある人
- ・ 鼻の病気を持っている人
- ・ 過去にデスマプレシン点鼻スプレー2.5 μ g「フェリング」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人
- ・ 高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は、鼻腔内に使用するスプレー剤です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

	1日使用回数	
	1日1回	1日2回
小児	1回 1噴霧～2噴霧	1回 1噴霧～2噴霧
成人	1回 2噴霧～4噴霧	1回 2噴霧～4噴霧

●どのように使用するか？

使用方法については製品に同封されている説明文書「デスマプレシン点鼻スプレー2.5 μ g「フェリング」のご使用にあたって」をよく読んでから使ってください。また、以下の説明も参照してください。不明な場合は、医師または薬剤師に相談してください。

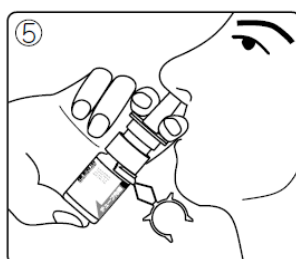
(スプレーによる鼻腔内使用法)

吸収を安定させるため鼻をかんでから使用してください。

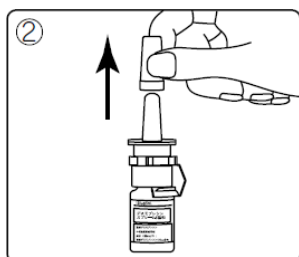
使用方法



① 本剤をスプレーする前に鼻をかんで鼻腔の通りを良くして下さい。



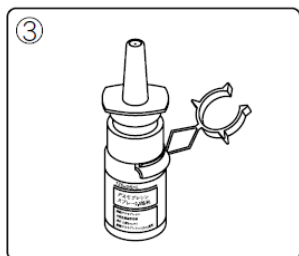
⑤ 頭を少し後ろに傾け、図のようにノズルの先端を鼻腔に入れ、息を止めてスプレーします。スプレー回数が複数の場合は、左右の鼻腔に交互にスプレーして下さい。



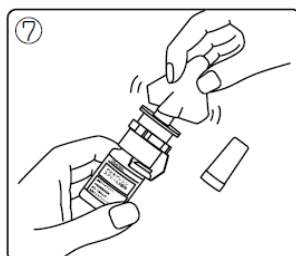
② 容器から保護キャップをはずします。



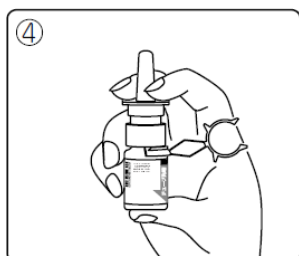
⑥ スプレー後は薬液を鼻の奥まで行き渡らせるように、頭を後ろに傾けた状態で軽く鼻を押さえ、鼻から静かに息を吸うようにして下さい。



③ 容器からストッパーをはずします。

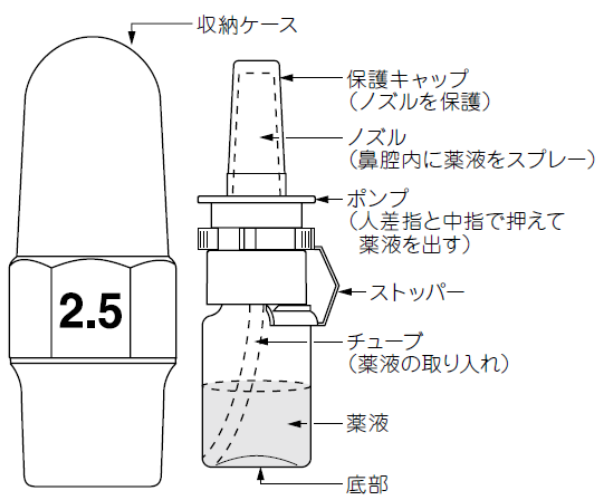


⑦ 使用後はストッパーを取り付け、ノズルの先端をきれいにふいて、保護キャップをして下さい。使用しない時は、冷蔵庫でピンを立てた状態で保管して下さい。

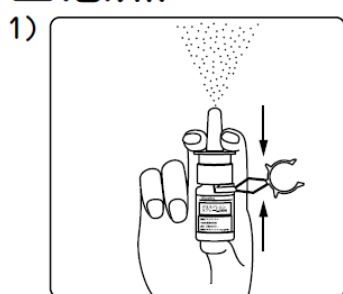


④ 親指で底部を支え、人差指と中指でポンプを押さえ容器を図のように持ちます。

(1スプレー時の主薬量: 2.5 μ g
1スプレー時の薬液量: 0.1mL)



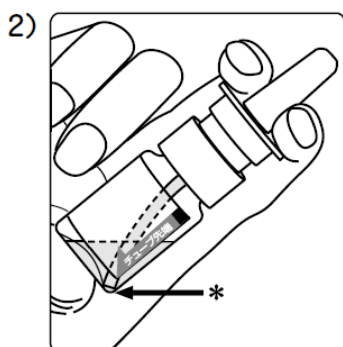
留意点



本剤を初めて使用する時には、ポンプを数回(4回程度)押してチューブに薬液が吸い上げられるようにし、薬液が霧状にでてくることを確認してからご使用下さい。

また、長期間(1週間以上)使用していなかった場合等にもポンプを1回もしくは薬液が霧状にでてくるまで空打ちしてから使用する必要があります。

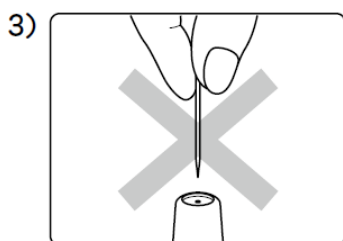
なお、スプレーする時には人差指と中指の力を均等にかけ最後までポンプを押して下さい。



スプレー使用時には、ピンの内側のチューブの先端が必ず薬液の中に入っている状態でご使用下さい。

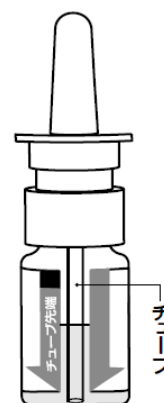
*チューブの先端は、ラベルの開いている矢印の間の方向に固定されています。ラベルの開いている方を手前にして噴霧すると、チューブの先端が薬液の中に入っている状態で使用できます。

(チューブ先端が薬液の中に入っていない状態で噴霧すると、チューブに空気が入り、正確な量が噴霧されないことがあります。このような場合には空打ちしてからご使用下さい。)



空打ちの際、薬剤の噴霧が不十分でも針やピンなどで噴霧口を突かないでください。

正確な量を噴霧できなくなります。



4) ポケット等、体温が伝わる所に入れて携帯しないで下さい。液もれを起こすおそれがあります。携帯が必要な場合は収納ケースにおさめてバッグ等に入れ、立てた状態で携帯して下さい。

5) バッグ等に入れて携帯する際、振とうや落下などの衝撃を加えないよう注意して下さい。液もれを起こすおそれがあります。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用してはいけません。

指示された時間に使い忘れたら、次のように使用してください。

1日1回使用の場合：気がついたときすぐに使用してください。翌日からは指示された時間に使用してください。

1日2回使用の場合：気がついたときすぐに使用してください。次回は最低6時間はあけて使用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

頭痛、冷感、吐き気、けいれん、意識喪失（そうしつ）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、受診してください。過量使用の処置薬として、等張もしくは高張食塩水やフロセミドがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中は、血清電解質などの検査が行われます。
- ・適正な飲水量が決まるまで、またこの薬の正しい使い方を習得し維持量が決まるまで、入院するなど医師の十分な管理のもとで使用されます。
- ・水中毒の予防のために、患者さんや家族の方は次のことを理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・指示された飲水量、この薬の用法、使用量を守ってください。
 - ・水分をとり過ぎた場合にはこの薬を使用しないでください。発熱、喘息などの水分を多く取る必要がある病気の人は、水分の取りすぎに特に注意してください。
 - ・水中毒を疑わせる症状（体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐など）があらわれた場合にはただちに使用を中止し、医師に連絡してください。
 - ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
脳浮腫、昏睡、痙攣等を伴う重篤な水中毒 のうふしゅ、こんすい、けいれんなどをともなうじゅうとくなみずちゅうどく	〔水中毒〕体がだるい、頭痛、吐き気、嘔吐、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下、けいれん 〔脳浮腫を伴う場合〕めまい、意識の低下、頭痛、視力の低下、深く大きい呼吸、手足のふるえ、精神の混乱 〔けいれんを伴う場合〕けいれん 〔昏睡を伴う場合〕意識がなくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表を御覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、けいれん
頭部	頭痛、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる
眼	視力の低下

口や喉	吐き気、嘔吐
胸部	吐き気、深く大きい呼吸
腹部	吐き気
手・足	手足のふるえ
その他	判断力の低下、精神の混乱

【この薬の形は？】



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	デスモプレシン酢酸塩水和物
添加物	クロロブタノール、塩化ナトリウム、pH 調整剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・冷蔵庫等（1～10℃以下）にビンを立てた状態で保管してください。なお、凍らせないように注意してください。
- ・ポケット等、体温が直接伝わる場所に入れて携帯すると液漏れを起こすおそれがあります。旅行等で携行する場合は極力温度差の少ない場所に保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社

フェリング・ファーマ株式会社 (<https://www.ferring.co.jp/>)

くすり相談室

フリーダイヤル：０１２０－０９３－１６８

受付時間 ９：００～１７：３０

（土・日・祝日及び弊社休日を除く）

販売元

キッセイ薬品工業株式会社 (<https://www.kissei.co.jp/>)

くすり相談センター

フリーダイヤル：０１２０－００７－６２２

受付時間 ９：００～１７：４０

（土・日・祝日及び弊社休日を除く）